

平成24年（2012）6月13日～18日

平成24年度（2012）

第2回出雲市議会（定例会）

一般質問通告一覧表

平成24年度（2012）第2回出雲市議会（定例会）一般質問通告一覧表 目次

6月13日（水）10:00 開会			6月14日（木）10:00 開会			6月15日（金）10:00 開会			6月18日（月）10:00 開会		
順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ	順番	議員氏名	ページ
1	大場利信	1～2	1	西村 亮	6	1	原 隆利	11	1	松村豪人	14
2	保科孝充	2～3	2	多々納 弘	7	2	小村吉一	11～12	2	伊藤繁満	15
3	坂根 守	3	3	川上幸博	8	3	杉谷寿之	12	3	木佐 宏	15～16
4	板倉明弘	4	4	飯塚俊之	8	4	珍部全吾	13	4	萬代輝正	16
5	米山広志	4	5	井原 優	9～10	5	遠藤力一	13	5	板倉一郎	17
6	大国陽介	5～6	6	勝部順子	10	6	福代秀洋	14			

平成24年度（2012）第2回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	1 大場利信		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 枝葉リサイクルセンターの活用について	1. 枝葉リサイクルセンターは、①いつ建設され、②どういう機械を備え、③平成21年度及び22年度の枝葉搬入台数を伺う。 2. 休止するまで、運営はどのようになされていたか。 3. 枝葉リサイクルセンターの稼働を中止した理由は何か。 4. また、エネルギーセンターで処理すべきものの一部を枝葉リサイクルセンターでチップ化することについて、今年度中に結論を出すとの計画があると聞いているが、いつを目途に結論を出すつもりか伺う。 5. 資源の再利用やゴミの減量化を円滑に進めるためにも、また築地松や屋敷森を保全しようとする住民のインセンティブを高めるためにも、住民負担の軽減と利便性あるいは利用のしやすさに配慮されるべきと考える。このような点からも一日も早い枝葉リサイクルセンターとエネルギーセンターの双方稼働がより望ましいと考えるが伺う。	市長	
2. 農業と障がい者雇用について	1. 平成22年度及び23年度に本市の障がい者自立支援施設から企業等へ一般就労した人数と比率を伺う。また、その中で農業分野へ一般就労した人数と比率も併せて伺う。 2. 本市において、農業分野で障がい者を雇用している企業はいくらか伺う。 3. 障がい者が農業分野へ一般就労する際のハードルをどのように分析しているか、健康福祉サイド及び農林サイドの双方に伺う。 4. 今年度中に出雲市の農業振興計画が策定されることとなっているが、計画の中へ担い手の育成支援策のひとつとして「ユニバーサル農業推進事業あるいは農業分野への障がい者雇用」に言及すべきと考えるがこれについて伺う。	市長	
3. 「神話の国出雲さんさん倶楽部」事業について	1. 住宅用太陽光発電システムを自宅等に設置された者がこの事業を理解し、進んで加入してもらうことが大切と考えるが、その方策について伺う。 2. また、運用の容易さも大切と考える。自宅の太陽光発電システム排出量の捕捉は容易にできるか。 3. CO ₂ の売却価格1,500円/トンの積算根拠を伺う。 4. 出雲市の新エネルギー施策関連の取組みに国内クレジットからの収入額を活用するとあるが、具体的にどのようなことに活用するつもりか。 5. CO ₂ の排出量を削減するため、クリーンな再生可能エネルギーは今後益々増え、国内	市長	

	クレジット制度の活用も増えると予想される。この制度を他の分野、例えば、バイオマス、中小水力発電、あるいはメガ・ソーラーなどへ普及させる計画はあるのか伺う。		
--	---	--	--

質問者	4 保科孝充
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 財政再建中における各公民館（コミセン）の使用について	1. 財政再建中における各公民館（コミセン）の使用について伺う。 (1)各公民館（コミセン）の使用料について、利用者負担の原則から考えれば使用料を徴収し、各種活動費用・備品の購入・修繕あるいは該地域の公共施設の整備等に利用すべきと考えるが (2)斐川地域の公民館人件費と平成25年度からコミセンとなった場合の人件費の比較について伺う。 (3)長年の利用経過の中で、子供たちのための、そろばん・英語・習字等教育を主目的とした事業については使用を許可すべきと考えるがいかがか伺う。 (4)斐川地域の各公民館を会場とし、福祉協議会等の各種団体・個人が一体となって実施している介護予防事業であるミニディサービスの今後の進め方について伺う。	市長	
2. 出雲市子ども・若者計画と政府の子供・若者白書について	政府の2012年版「子供・若者白書」原案で雇用情勢が不安定な中、将来を見通せない実態が明らかになった。 出雲市でも「出雲市子ども・若者計画」を策定中であり市民から広く意見を求めているが、現状と今後の対策について伺う。 (1)素案について (2)出雲市の若者の失業率の推移とその対策について (3)出雲市の若者の年金保険料未納者及びその状況とその対策について (4)出雲市の若者の年収について	市長	
3. 斐川地域の工業団地・出雲空港・山陰自動車道等へ通じる産業・通勤道路の整備について	斐川地域の工業団地へ通じる通勤道路、産業道路、出雲空港への幹線道路・山陰自動車道へのアクセスとしての整備が急がれるが、今後の計画について伺う。 (1)都市計画道路斐川中央線の整備・・・約4km 交通渋滞への対応 (2)県道斐川上島線の整備・・・約2.5km トンネル・橋梁 雲南市等の通勤道路の確保 (3)斐伊川堤防上出西地区の改修拡幅、道路拡張・・・平成18年に斐伊川から住宅地に流水した経過がある。市内では唯一の斐伊川堤防未改修区間であり早期改修拡幅と県道（木次直江停車場線）の舗装が必要である。約2km (4)旧簸川南広域農道の斐伊川放水路・間府大橋付近から県道木次直江停車場線までの市道	市長	

	11号線、14号線、1502号線を県道への格上げ。約3.5km (北部広域農道は県道斐川出雲大社線に格上げした経過がある)		
--	--	--	--

質問者	25 坂根 守
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 山陰自動車道に物販施設の設置ができないか	山陰自動車道は湖陵多伎間が今年度事業化され出雲インターから西に向けてつながる事になった。一日も早い完成が望まれる。 出雲インターから西は新直轄方式で料金は無料区間で9号線のバイパス的な位置づけです。したがってパーキングエリアもトイレもガソリンスタンドもありません、そこで出雲市において地元産品を販売する施設やトイレが設置できないか、多伎朝山間はトンネルと橋梁で場所がなかったが湖陵多伎間では可能と思うが市長の考えを伺う。	市長	
2. 国際交流のビジョンは	17年の合併時には国際交流課であったが現在は国際交流室になった。国際交流員も4名がこの7月以降1名になる。これからの時代、国際交流は大いに発展させなければいけないと思うが後退しているのではないかと感じる。市長の考えを伺う。 (1) 市長の国際交流に対するビジョンは何か。 (2) 姉妹都市のアメリカのサンククララ市とフィンランドのカラヨキ市は目に見える交流が続いていると思う。しかし中国の漢中市、フランスのエビアン市、アイルランドのダンレアリー・ラスダウン市は現在どんな交流か。将来的にどうする考えか。 (3) 一昨年市長、昨年副市長が訪問された韓国の浦項市との交流は今後どう発展させるのか。 (4) 国際交流員の費用は交付税で措置される。2名か3名にする考えはないのか。	市長	

質問者	26 板倉明弘
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 常設型の住民投票制度に対する疑問点を問う	1. 「条例による住民投票は拘束性を持つものではない」との説明は、現実的ではないと思うが見解を伺う 2. 常設型の住民投票は「議会の軽視や形骸化」を進めることになるばかりか、財政負担に苦しむことになるのではないか 3. 住民投票資格者を限定することで「資格のある市民」と「資格のない市民」という矛盾が現れ、不公平感が生まれるのではないのか	市長	
2. 出雲市コミュニティセンターの運営方法について	1. 職員の採用責任と雇用形態の改善策を伺う 2. 職員指導ガイドライン制度の試行的導入の経緯と内容を伺う 3. 職員の人事交流制度の提案（平成22年9月議会質問）に対するその後の検討状況と対応内容を伺う	市長	

質問者	28 米山広志
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲市幼稚園事業計画	1. 科学館と連携した理科体験の導入の具体的な内容 2. 私立幼稚園への事業費助成の内容 3. 幼稚園運営理事会制度の導入年度と全幼稚園が対象か。	教育部長	
2. 出雲市農業委員会	1. なぜ2つの農業委員会が必要か。 2. 斐川町との合併協議の内容。 3. 今後1つにされる考えは。	市長	
3. 九景川改修	1. 県道から上流部約180mの改修はいつか。 2. 山陰本線下の拡幅改良はいつか。	市長	

質問者	13 大 国 陽 介
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 税・保険料を滞納する 市民への対応について	<p>1. 生活苦、経営難の状況に市民に対し、地方自治体の果たすべき役割は、単に必要な施策を講じることにとどまらず、住民福祉の向上のため、市民の日々の暮らしに寄り添うとともに、親身になった対応だと認識しているが、所見を伺う。</p> <p>2. 税や保険料を滞納する方の多くは、重い税や高すぎる健康保険料の負担に加え、生活苦や経営難により支払いが困難になっている。このことを認識しているか。</p> <p>3. 預貯金、生命保険、動産、不動産等の「差押え」の件数及び、その判断基準を示されたい。また、「生存権的財産」の差押えはできないことになっているが、その認識はあるか。</p> <p>4. 国民健康保険の保険料を納めることができず「資格証」が発行されている世帯に対し、医療機関の受診のために保険証が必要となり市の窓口へ相談にこられた際、保険者は保険証を交付しなければならない。このことを徹底するよう改善を求める。</p> <p>5. 生活や経営に困窮する滞納者に対し、「いつでも差押えできる」といい、「振り込まれた年金を充てろ」と、生活実態を考慮しない極めて厳しい取り立てが行なわれている。さらに、「納付の相談に行っても払えないことを責められただけ。相談にのってもらえなかった」など、市民の暮らしを守るべき自治体が逆に市民を苦しめており、市役所は信頼を失いつつある。実態を把握するとともに、直ちに改善することを強く求める。</p>	市長	
2. 出雲市の同和関連事業 について	<p>1. 現在、出雲市では「同和対策事業」として、墓地や公園の維持管理費用や運動団体が開催する大会（研修会）への参加経費、全日本同和会出雲支部への補助金、住宅新築資金貸付け事業などが行なわれているが、各種の人権課題のうち「同和」が別格化され、特別扱いされているのはなぜか、具体的に示されたい。</p> <p>2. 全日本同和会出雲支部への補助金はどのように使われているのか、支部の活動はどのようなことが行なわれているのか、収入に占める補助金の割合はどの程度か、それぞれ示されたい。</p> <p>3. 住宅新築資金の貸付け事業の現在の状況を示されたい。（この資金を利用した人の数、完済した人の数、返済中の人、返済が滞っている人の数）合わせて、市の今後の方針について伺う。</p> <p>4. 国の特別措置法が終了し、女性、外国人、障がい、感染症など、市民が抱える人権課題が多様化する今日、特定の団体への補助金支出の中止をはじめ、同和に特化した事業は終結することがふさわしいと考える。同和事業は終結するとともに、人権課題の解決に向けた事業は広く市民一般を対象として実施することを求めるが、いかがか。</p> <p>5. 人権同和政策課は人権政策課へと、同和教育は人権教育へと名実共に改めるべきと考えるが、いかがか。</p>	市長	

3. 通学路の安全対策について	<p>1. 各学校関係者から寄せられる通学路の安全確保に関する要望のとりまとめの現状を示されたい。また、通学路の安全対策について、十分な予算を確保すべきと考えるが、いかがか。</p> <p>2. 市設置の防犯灯の設置要綱には、「おおむね100メートル以内に街路灯、家及び公衆電話等の照明設備がなく、防犯上必要な場所とする」との制限があり、このことが通学路に防犯灯の設置が進まない原因の一つとなっている。必要な場所に設置できるよう距離の規定など、要綱の見直しを求めるが、いかがか。</p> <p>3. クマの出没にともなう通学時の安全確保に向けた市の対応を伺う。</p>	市長	
4. スケートボードとBMX、スポーツ振興について	<p>1. スケートボードやBMX（自転車）の愛好家が出雲市内でも若い世代を中心に増えている。「出雲市スポーツ振興基本計画」では、この2つのスポーツについて、どのように位置づけられているのかを確認することはできない。市としてスポーツであるとの認識はあるか。</p> <p>2. スケートボードやBMX（自転車）を安心してできる場所が欲しいとの要望が寄せられている。この要望に応えることは、単にスポーツの振興にとどまらず、青少年の健全育成、若者の居場所づくり、定住対策を進めるうえでも有効だと考える。これらの声に対し、財源や場所の確保などに向け前向きに対応されることを求めるが、いかがか。</p>		

質問者	11 西村 亮
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 宍道湖における漁業、増殖、振興策を問う	<p>1. 近年の漁獲実態について</p> <p>2. 特にシジミの漁獲減と対策について</p> <p>3. 水産振興事業の助成金について</p>	市長	
2. 有害鳥獣対策と課題	<p>1. 北山山地、湖北山地に於ける捕獲、被害状況</p> <p>2. 鳥獣別捕獲奨励金の充実</p> <p>3. H25年湖北山地に於けるシカ絶滅、目標達成</p> <p>4. 捕獲鳥獣の適切な処理</p>	市長	

質 問 者	6 多々納 弘
-------	---------

質 問 事 項	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 脱原子力発電の代替施策について	1. 脱原発を求めるとであれば、国、県に委ねるだけでなく、市町村自らが自分の事として相応の代替施策を講ずべきであると思うが如何か。 2. 代替発電施策を問う。 (1)火力発電について (2)風力発電について (3)太陽光発電について (4)海洋発電について (5)水力発電について 3. 節電対策を問う。 (1)市自体の節電対策について (2)一般家庭への節電要請（工場、医療など除く）について 4. 電源開発研究組織の設置について	市 長	
2. 出雲市都市計画道路の見直しについて	1. 都市計画道路全体計画の見直しについて問う。 (1)都市計画道路見直しは実施されるか (2)見直しの必要性和方向性は (3)見直し時期は何時頃か 2. 都市計画道路斐川中央線の見直しと新たな計画決定について問う。 (1)斐川中央線の見直しは実施されるか (2)旧県道木次直江停車場線より南部大型農道（通称）までを新規都市計画決定路線に追加すべきだと考えるが如何か。	市 長	

質問者	20 川上幸博
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 地場産業の維持と育成について	<p>1. 21世紀グランドデザインに記載してある新市建設計画の課題「産業振興と雇用の場の確保」について、6年が経過した中での課題への成果と反省点を挙げ今後の振興策を伺う。このような重要課題について政策評価を取り入れることが必要と考えるが方針も合わせて答弁を伺う</p> <p>2. 地場産業の現状を伺う。</p> <p>3. 地場産業へのハード、ソフト面での助成措置、申請状況</p> <p>4. NPO 21世紀出雲産業支援センターの役割と成果を伺う。</p> <p>5. 出雲市への物品納入への発注状況は、地場企業及び誘致企業へ状況</p> <p>6. 建設業の入札制度が変わったが、市民へのメリットおよび、基盤整備促進への影響は</p>	産業観光 部長	
2. 私道整備に対する市の対応を伺う	<p>宅地開発による私道、特に行き止まりの道路および側溝の整備について</p> <p>(1)整備を必要としている道路、および側溝の総延長、何路線あるのか</p> <p>(2)整備について担当課への相談件数</p> <p>(3)今後、出雲市としての整備助成の方針を伺う</p>	都市建設 部長	

質問者	7 飯塚俊之
-----	--------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 東アジアを中心とした海外観光客誘致、海外市場の開拓への取り組みについて	<p>1. 海外観光客誘致への取り組み状況</p> <p>2. 課題と今後の取り組み方針</p> <p>3. 海外市場の開拓への取り組み状況</p> <p>4. 課題と今後の取り組み方針</p>	市長	
2. ポスト正遷宮について	<p>1. ポスト正遷宮への取り組み</p> <p>2. 「まんが王国とっとり」の評価</p> <p>3. 国際映画祭開催の可能性</p>	市長	

質問者	2 井原 優		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 稼働ゼロから原発ゼロへの市長の政治姿勢について	<p>1. 政府は、大飯原発の再稼働に躍起です。島根でも、この国の動きを憂う声があがっています。福島原発事故を受け島根原発の停止・廃炉に賛同の意を示したのが島根原発から40キロの離島 知夫（ちぶ）村の矢田辰夫村長。「(事故で)現在の科学技術では人類が原子力をコントロールできないことを学ばされた。そもそも何十万年も核廃棄物を管理することは不可能。人類と原発は共存できない。島根原発事故が起これば遮蔽物は何もなく、避難できない」とのべ、政府の再稼働の動きに異を唱えています。市長も再稼働に対し、国に再稼働中止を求める意見を提出すべきです。市長の認識を伺う。</p> <p>2. 大飯原発の再稼働にあたっての島根県（知事）の態度は、① 福島原発の事故の原因究明抜きにはありえない、② 県議会、周辺自治体の理解を得た上で、専門家、県民の声を聞く、③ 避難計画が立てられているのかを見た上で判断を行う、というものです。 市長として、再稼働すべきでないとの意見を県にもあげるべきです。認識を伺う。</p> <p>3. 「脱原発をめざす首長会議」の設立趣意書は、自治体首長の責任は「住民の生命財産を守る」とのべています。自治体の首長も自らの責任として、この事態に黙することなく、原発に依存しない社会「脱原発社会」をめざし、すみやかに再生エネルギーを地域政策として実現することを積極的に進めていかなければなりません。市長として、この趣意書に賛同して、「脱原発をめざす首長会議」に参加され再稼働NO!の声をあげようではありませんか。認識を伺う。</p>	市長	
2. 就学援助制度の活用について	<p>経済的に困っている小中学生の家庭に、学用品や給食費、修学旅行費などを援助する就学援助について、2010年度から支給対象となった「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」について対象を広げるべきです。認定世帯の推移（数と率、小、中別）認定基準、給付対象額、また、市独自の補助項目をふやす考えはないか伺う。</p>	市長	
3. 新川の「しがらみ道路」道路拡幅整備について	<p>1. 新建川から平田灘分間の（通称、しがらみ道路約1km）などの改修を求める請願は、昨年の斐川町議会6月議会で採択されています。議会採択について市の認識を伺う。</p> <p>2. 市の事業計画を（道路改修についての拡幅の条件など）伺う。</p>	市長	
4. 斐川地域での（旧斐川町と出雲市内を結ぶ）生活バスの運行について	<p>出雲市公共交通システムについて、答申書では“新しい路線を希望される地域においては、地域で運行協議会を組織し、行政と運行協議会が一緒になって、多くの方が利用していただける交通体系を検討します。又、検討にあたっては、用途、経路、ダイヤ、利用者見込みなどを十分に協議し、また、定時定路線のバスにこだわらない、多様な形態の公共交通を検討します”とされています。</p> <p>斐川地域は、通学、通院、買い物ができる生活バスがありません。高校生の通学（クラブ活動後の帰り）、スクールバスの廃止、市内への高齢者の買い物、通院など、多くの市民が不便を感じ</p>	市長	

	ています。また、斐川支所になり、今まで旧役場で行政事務など、済んでいたものが、出雲市役所の本庁へ出かける機会が多くなります。斐川地域での運行協議会を立ち上げ、斐川地域での生活バスの運行を求めますが、所見を伺う。		
--	---	--	--

質問者	27 勝部 順子
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 子育て支援	1. 幼保一元化の現状と今後の対応について 2. 出雲市認可保育所定員等検討委員会の審議状況 3. 新たな認可保育所の設置の考え 4. 保護者からの苦情などについての対応（窓口の設置） 5. 保育士の処遇改善について 6. 保育の質の向上について 7. 認可外保育施設運営支援事業の成果について	健康福祉 部 長	
2. 通学路の安全をどう守 るのか	登下校中の子供たちを襲う痛ましい交通事故が相次いでいます。 子供たちを守るためには、危険箇所の総点検や、ドライバーの安全意識啓発、地域社会の協力 などが不可欠です。 早急な対応を求めるものです。 (1) 市内の通学路の現状について (2) 交通量の多い通学路の安全性の調査・点検について (危険箇所・防犯灯の設置状況) (3) 調査をした上で、車の速度を抑制する路面整備など (4) 集団登校のあり方の見直し (5) 中山間地域の通学路での、安全対策について	教 育 長	

質問者	31 原 隆 利
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 公契約条例の制定について	<p>厳しい経済情勢の中で、地方公共団体が締結する契約においても、人件費の圧縮、労働条件の悪化、下請業者へのしわ寄せ等が問題になっている。これに伴い、公共サービスの質の低下が危惧される。</p> <p>このことは結果的に市民生活の質の低下をもたらすものとする。</p> <p>(1) 市はこの問題についてどう考えるか。</p> <p>(2) 「公共サービス基本法」に基づく、調査等行われているか。</p> <p>(3) 公契約条例の制定の考えはあるのか。</p>	市長	
2. 出雲市住民自治基本条例について	<p>1. 今議会提案を見送った理由</p> <p>2. 今後の対策と市民への説明</p> <p>3. 特に常設型住民投票の考え方が甘かったのではないか。</p> <p>4. 妥協の産物的な住民投票制度ならない方が良いと考える。</p>	市長	

質問者	12 小 村 吉 一
-----	------------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 「支所の見直し」について問う	<p>1. 現在の支所と本庁との関係、位置及び支所の機能、構成、問題点など実際に伺う。</p> <p>2. 合併により市政と住民との隔たりは大きくなっている。それを克服し、住民の要求や声などに応える組織機構をどう構築するのか。長期的展望を含めた構想を伺う。</p> <p>・コミセンの役割、位置づけについては、長期的スパンの論議として、支所の見直しとは分けて考える二段構想となっているが、それでは、真の意味での支所の見直しはできない。本庁、支所、コミセンなどの総合的な構想があって初めて支所の見直しができると思う。</p> <p>3. 既設の「行政改革推進委員会」での協議・検討を基本とするとしているが、市政にとって重要な問題であり、独自の審議会を立ち上げ、検討をすべきと考えるがどうか。</p> <p>(1) 既設の委員会では、周辺部の声が反映されない。</p> <p>(2) 公募を含めるべきでは</p>	市長	
2. 「出雲スポーツ振興21」の就業規則を問う	<p>1. 今年の4月1日付で「出雲スポーツ振興21」は就業規則を更新された。報告があっているのか。</p>	市長	

	<p>2. 報告があったとすれば、その内容についてどのように受け止められたのか。また、何らかのアクションをされたのか伺う。</p> <p>3. 就業規則によると「就業時間中ないし施設内においては、労働組合活動を行わないこと」とあり、それに反すると解雇を含めた懲戒処分が行われることとなっている。このことについて、指定管理者にした市としての見解を伺う。</p>		
3. 「田舎流デイサービス事業」について伺う	<p>1. 本市の独居、老々所帯や老人クラブ組織などの高齢者の現況を伺う。</p> <p>2. 「田舎流デイサービス事業」すなわち常設型のサロン事業をなぜ廃止しようとしているのか。</p> <p>3. 継続支援はもちろんのこと、むしろ拡充すべきと考えるがどうか。</p>	市長	

質問者	37 杉谷寿之
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. プレジャーボートの不法係留とマリーナ設置問題	<p>1. 市内の河川及び漁港にある不法係留船の実態について</p> <p>2. 現存する民間マリーナとその利用状況は</p> <p>3. 不法係留船問題について現在まで、どのような対策をとられてきたか</p> <p>4. 今後の具体的な解決策を伺う。</p>	都市建設部長	
2. 日御碕、鵜鷺への道路安全管理について	<p>1. 毎年くり返し災害が起きる。日御碕、鵜鷺地域へのアクセス道路の安全確保はどの様になされているのか。</p> <p>2. 日御碕線は観光の要であり、その整備と沿道的美観の管理は、どのように実施されているのか。</p> <p>3. 両線は電力、NTT、有線のラインが並行して施設されているが、その安全はどの様に確保されているのか。</p>	都市建設部長	

質問者	36 珍部全吾
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 放水路整備促進協議会からの要望に対する(回答)について	H24年4月27日に協議会に(回答)された内、下記3点について問う (1) ジョギングコースの整備について 知事が市を訪問された時、どのような話しがされたのか。 (2) 上木入道水路の改修についての回答は 市農林基盤課と相談せよとのことである。あまりに無責任と思うが所感は (3) グリーンステップの利活用について メガソーラーを検討されたいと県に要望されたとあるが、地元との協議も全くなく、地元軽視ではないか	市長	
2. 市の教育に対する基本方針について	少子化に対応して、現在最も重要なことは将来を担う子供達の教育であると思う (1) 出雲市教育の基本方針について新教育委員長の所感は (2) 市独自の教育についての考えは	教育委員長	

質問者	15 遠藤力一
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
原発再稼働について市長の見解を問う	1. 大飯原発再稼働についての市長の見解を伺う 2. 島根原発1号機2号機の再稼働についての見解を伺う 3. 出雲市民の生命財産を守り持続可能な地域とするため、今後の島根原発に対する対応を伺う	市長	

質問者	22 福代秀洋
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
包括外部監査について	<p>1. 結果をどのように受け止めているのか 昨年度初めて実施した包括外部監査の結果を、どのように受け止めているのか、所感を伺う。</p> <p>2. 総論で示された問題について (1) 補助金交付要綱が作成されていないか、または不十分であることの問題 (2) 政策目的を達したかの検証およびそれに基づく対応がなされるべきこと (3) 文書で残すべきこと (4) 補助金の終期を設定すべきこと 総論で示された上記問題に対する執行部側の意見と、これに、どのように、いつまでに 対応するのか、基本的な方針を伺います。</p> <p>3. 各論で示された問題について (1) 結婚相談所運営費補助金 (2) 出雲市職員共済会事業負担金 各論で示された問題のうち、上記2項目について、どのように、いつまでに、対応する のか、具体的にお答えください。また、1. については、なぜ今まで対応されてこなかっ たのか伺います。</p> <p>4. 結びで示された指摘について (1) 補助金事業改善のための仕組みが整っていないこと (2) 補助金事業の改善のためのマネジメントが必要であること 結びで示された指摘のうち、上記2項目に対する執行部側の意見と、これに、どのよう に、いつまでに、対応するのか、基本的な考えを伺います。</p>	市長	

質問者	14 松村豪人
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
地域の防災計画を支援すべき	<p>1. 市内における地区独自の防災計画の策定状況</p> <p>2. 市地域防災計画との関わりや位置付け</p> <p>3. 地区独自の取り組みをどう評価しているのか</p> <p>4. 市として、地区の防災計画をどう支援していくか</p>	市長	

質問者	3 伊藤 繁 満		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 国営農業用水再編対策事業(斐伊川沿岸地区)の進捗状況と安定した農業用水確保について	1. 受益農家の同意と申請事業の意義について 2. 主要工事の進捗状況と今後の工程について 3. 当初計画に対して計画変更されている場合の法手続きの必要性 4. 慣行水利権と許可水利権の優位性について 5. 当初計画に無い取水施設の統廃合の有無について 6. 渇水時における、いわゆる三郡分水番水の割合について 7. 農家所得の向上と経済効果について	市長	
2. 宍道湖の環境整備について	1. 中海・宍道湖関係市長会における宍道湖の環境整備に係る施策とその方向性 2. 宍道湖西岸に漂着する空瓶、空缶、タイヤ等のごみ対策解決方法は何か 3. 水質の現状と改善対策は何か又、出雲市として講じた方策は何か 4. 斐伊川、宍道湖、中海を通した上下流が一体となった県民一斉の清掃日を提案する考えについて	市長	

質問者	10 木 佐 宏		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
『子ども達や、生活弱者に冷たい長岡さん』 その1 通学路の安全施策要請を黙殺する市長	1. 口宇賀～西代本線の歩道緊急課題要請も黙殺 出雲警察署国富駐在所統合閉鎖により、当該施設の競売実施以前に歩道用地の分筆取得要請をあなたは、概念論に捕らわれ広報第49号文書回答により、完全黙殺された、わずか20メートル区間40㎡、892,000円総額程度の用地取得すら、為政者として決断できなくて、子ども達に恥ずかしくありませんか。 2. 市道国富～大津線、歩道整備要請も黙殺する市長 寺本淳一教育委員長の3月議会答弁には「通学路の安全確保は教育行政を推進する上で最も重要、隣接する用水路の問題と深く関わり、地元調整が不可欠と分かっているがしかし、教育委員会としても、この通学路歩道整備が実現するために、今後も引き続き要請を行わなければならない」と教育委員長として責務の完遂へ誠実なる答弁があっている。以前には西尾市長政	市長	

	権下において、野津副市長は、西尾市長と相談の上自らが現況視察、20数年前からの地元要望の経緯を検証、行政執行上必然的課題と計画に組み入れるべき旨のお話を頂戴しているが、貴方は未だ他人任せの無頓着、為政者として子ども達に恥ずかしくありませんか。		
『子ども達や、生活弱者に冷たい長岡さん』 その2 生活弱者の叫びにも心を綴じ黙殺する市長	湯谷川拡幅改良事業にからみ、みなみ橋の廃止が計画されている、この事件は、以前にも当方から質したが、平成19年に出雲市から撤去廃止への同意がなされていると黙殺、しかし周辺住民の真の合意は図られずが真実、困って周辺住民から存続要望が未だ、くすぶり続けているのが真相、撤去廃止後の日常生活への激変影響を生活弱者視点、目線で思考、熟慮すれば安易な対応措置は許されない、改めて実情再検証、主権者たる周辺居住者の最大公約数民意を早急に集約、真の合意形成を得て、事業発注者と再協議すべきである。以前県当局関係者から「歩行者、自転車通行可能機能を備えた新規架橋は不可能では無い」との、コメントも得ている、為政者が漫然執務、傍観者であってはならない、貴方は市民に恥ずかしくありませんか。	市長	

質問者	17 萬代輝正
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 「余裕教室」と「廃校施設」の有効活用について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国は、「余裕教室」の活用方針をどのように示しているか 2. 国における「余裕教室」への補助制度について 3. 島根県内と出雲市内の「余裕教室」の現状と活用例（あれば） 4. 国は、「廃校施設」の活用方針をどのように示しているか 5. 国における「廃校施設」への補助制度について 6. 島根県内と出雲市内の「廃校施設」の現状と活用例（あれば） 7. 市政運営で危惧される学校再編に関し、今後の地域コミュニティを維持しつつ「未来につながるプロジェクト」として進むよう、市として活用方法や施設転換案などの検討も同時に考える時期ではないか。 8. 人口減少エリアにて、学校施設等を保育園、幼稚園、放課後児童クラブ、等の複合的な施設を先駆的な出雲モデルとして取り組む検討をしてみてもどうか。 	市長	
2. 「スポーツ振興ビジョン」策定への現状を問う	<ol style="list-style-type: none"> 1. 12月議会以降、「スポーツ振興ビジョン」の策定へ向けてどのような取り組みがなされたのか。 2. プロスポーツが出雲市内で見れるような「夢のある施設」が考えられているのか。 3. ワールドカップ優勝以来、盛り上がりを見せる女子サッカーを出雲市で支援していく考えは無いのか。 	市長	

質問者	18 板倉 一郎
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲ブランドを活かした産業支援について	<p>1. 出雲ブランド商品認定事業について</p> <p>(1) 制度の詳細について伺う。</p> <p>(2) 制度の導入時期について伺う。</p> <p>(3) 制度のメリットを伺う。</p> <p>(4) 市民や企業への周知はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(5) 制度の導入にあわせ、企業への支援策は、どのように考えているのか伺う。</p> <p>2. 出雲ブランドを活かした、その他の支援策について</p> <p>出雲ブランド商品認定事業以外に、出雲ブランドを活かした事業はないか伺う。</p>	市長	
2. 踏切の改良について	<p>踏切の改良について</p> <p>(1) 現在、市内において、どの程度要望があるのか伺う。</p> <p>(2) 現在、要望箇所の改良計画は、どのようになっているのか伺う。</p> <p>(3) 大津地区の大津里道踏切の緊急安全対策について、具体的な計画を伺う。</p> <p>(4) 塩冶地区の農林高校前踏切の改良要望がある。その進捗状況について伺う。</p> <p>(5) 踏切改良については、長い年月を要するが、その理由について伺う。</p>	市長	